

平成19年2月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 工 藤 四 郎

フ ォ ー ラ ム 2 1 塚 田 勇

社 会 ・ 市 民 連 合 宇 佐 美 洋 二 朗

秋 水 会 三 浦 芳 博

秋 水 会 柏 谷 幸 彦

1 市長の政治姿勢について

- (1) 国の行政改革が進み、地方交付税が年々削減される中で「緑あふれる新県都プラン」は計画どおり実施できるのか、また、本プランの見直しはあるのか
- (2) 道路特定財源の一般財源化により、本市の道路整備にどのような影響を及ぼすのか、また、道路特定財源の見直しに対する考えはどうか
- (3) 格差社会について、本市の状況をどのように考えているのか
- (4) 河辺・雄和地域における防災カルテの作成計画はどうなっているのか
- (5) (仮称)西部地域市民サービスセンターと並行して、河辺・雄和地域の市民サービスセンターの設置準備作業を進める考えはないか、また、市民サービスセンターの開設に当たっては、行政と地域が連携して地域づくりができる仕組みをつくるべきではないか

2 教育・福祉問題について

- (1) ゆとり教育に対する認識について
- (2) 教師への過度な負担により、若年教師が退職してしまうことについての本市の状況はどうか
- (3) 本市のいじめの状況と対応について
- (4) 児童虐待について
 - ア 本市の児童虐待件数はどれくらいか
 - イ 児童虐待にどのように対応しているのか
- (5) 新鮮な地場産食材を学校給食に積極的に取り入れていくべきと思うがどうか
- (6) 学校給食費の未納問題について
 - ア 本市の未納状況、未納理由及びその対応について

3 少子高齢化対策について

- (1) 子育て支援に積極的に取り組んでいる企業を支援するなど、企業に対する支援・協力などによる少子化対策に今後どのように取り組んでいくのか
- (2) 高齢者のほとんどが加入する国民健康保険制度について
 - ア 国民健康保険税の収納対策の現状と今後の強化策について
 - イ 国民健康保険制度の将来的な見通しについて

4 農業・農村振興について

- (1) 新たな米政策に伴う生産調整及び品目横断的経営安定対策等について
 - ア コメの生産調整における当事者間の連携について
 - イ 産地づくりと小規模農家対策について
 - ウ 品目横断的経営安定対策及び農地集積の進捗について
 - エ 集落営農の取り組み状況と大豆の生産振興について
- (2) 農地・水・環境保全向上対策への取り組みの現状について
- (3) バイオマスに目を向けた取り組みについて

5 観光振興について

- (1) 既存の観光施設について、アクセスを含めて整備する考えはないか、また、新たな観光スポットを掘り起こす考えはないか
- (2) 秋田わか杉国体を契機に来訪者が何度も秋田を訪れてくれるよう、市がホテル、旅館、交通機関及び商店等に対し、接客や対応の研修を積極的に実施するよう指導していくべきと思うがどうか
- (3) 河辺・雄和地域で歴史や伝統のある行事を通して地域おこしに頑張っている団体に対し、行政として積極的に支援すべきと思うがどうか
- (4) 秋田国際ダリア園を観光名所として積極的にPRするなど、本市全体の観光振興につなげていくべきと思うがどうか

- 1 緑あふれる環境を備えた快適なまちについて
 - (1) 電柱のない災害に強いまちづくりについて
 - ア 本市における無電柱化の実施状況と今後の計画について
 - イ 道路特定財源の一般財源化による無電柱化推進への影響について

- 2 健康で安全安心に暮らせるまちについて
 - (1) 児童生徒の安全対策について
 - ア これまで行ってきた事業の検証について
 - イ 今後さらなる安全対策を推し進めていく上での課題とその対策について

- 3 家族と地域が支え合う元気なまちについて
 - (1) 自治活動について
 - ア 既存のコミセンに指定管理者制度を導入できない理由と今後の対応について
 - イ 地域センターをコミセンに移行できないのか

- 4 人と文化をはぐくむ誇れるまちについて
 - (1) 小中学校の教育の充実について
 - ア 小中学校において共生の心をどのように育てていくのか
 - イ 「小中一貫した考えに立った教育」を、どのように推進しているのか

- 5 今後の収納対策のあり方について
 - (1) 徴税吏員の専門職としての位置づけと収納体制の強化について
 - (2) 国民健康保険税の徴収事務のあり方について
 - (3) 税外収入の未収金の回収策について

(4) 市税等の不納欠損処分に当たっての調査内容について

1 市長の政治姿勢について

(1) 安倍首相の「美しい国、日本」という発言について、どのような見解を持っているのか

(2) 教育基本法にある「国を愛する心」について、どのような見解を持っているのか

(3) 地方分権について

ア 第一次分権改革をどのように総括したのか

イ 地方分権改革推進法の趣旨をどのようにとらえているのか、また、同法の目玉は何であると認識しているのか

(4) 道州制について

ア 全国市長会ではどのような議論がなされているのか

イ 道州制について、どのような認識を持っているのか

ウ 全国知事会が先行するトップダウン方式ではなく、各自治体や住民の意見を十分聞いた上で議論を進めるべきと思うがどうか

(5) 県の新税構想について

ア 全国市長会の子育て世帯への所得税負担の軽減に関する国への要望と、県の新税構想との整合性をどのように認識しているのか

イ 子供は将来の国を担う大切な宝であり、少子化対策は一自治体ではなく国の責任において行うべきと思うがどうか

ウ 国は少子化対策の財源として、消費税増税も視野に入れた税制改正を検討しているが、県が議論している新税は二重の税負担とはならないのか

エ 新税の導入に当たっては、もう少し慎重に議論すべきと思うがどうか

オ 森林の整備に当たっては、一自治体だけの新税創設ではなく国策として推進すべきと思うがどうか

2 本市の財政状況について

(1) 18年度決算見込みについて

ア 三位一体改革の影響はどの程度となるのか

イ 経常収支比率は80%を超えるのか

ウ 公債費比率は10%を超えないことが望ましいとされているが、本市の状況はどうか

エ 公債費負担比率は財政運営上15%が警戒ラインといわれているが、18年度見込みではどうなるのか

(2) 19年度予算編成に当たり、最も留意した点は何か

(3) 庁舎建設について

ア 今後、都市内地域分権の推進により、市民サービスセンターが拡充されることに伴い、庁舎建設は当初計画よりコンパクトになると思われるがどうか

イ 本市の厳しい財政状況を勘案すると、庁舎建設に合併特例債が適用されると考えられることから、庁舎建設基金を凍結し、市民要望の多い部局に配分するような議論はなかったのか

ウ 庁舎建設の予定年次を前倒しする考えはないのか

3 保育所行政について

(1) 公立保育所の民間移行について

ア 川尻、港北両保育所の民間移行については、多くの保護者が反対しているようであるが、保護者会に対する事前の説明は十分であったのか

イ 現場の保育士に対する説明が不足しているのではないかという声を聞いているが、実態はどうであったのか

ウ 当初の方針どおり、川尻、港北両保育所の民間移行を進めるのか

エ 公立保育所の役割をどのように考えているのか、また、本市全域における民間保育所とのバランスをどのように考えているのか

オ 民間移行については全国各地でもトラブルが発生しているようで

あるが、トラブルの原因をどのように分析しているのか

(2) 今後の保育所行政について

ア ますます進展する少子化と幼保一元化の流れの中で、今後の本市保育所行政について、どのように考えているのか

イ 保育士を取り巻くさまざまな課題の中で、現場の保育士の間にはかなりの動揺があるように思われるが、保育業務に専念させるための方策についてはどのように考えているのか

4 消防行政について

(1) 消防職員委員会について

ア 消防職員委員会の構成はどのようになっているのか

イ 同委員会は年間何回開催されているのか

ウ 同委員会における協議では主にどのような意見が出されたのか

エ 出された意見の取りまとめはどのようにしているのか、また、協議の結果を職員に対してどのように周知しているのか

オ 出された意見について、県内外の消防本部や各消防署との意見交換の場は設けているのか

カ 消防職員委員会のほかに、安全対策及び環境改善委員会などの組織はあるのか

(2) 防犯対策について

ア 低学年の児童が下校する時間帯に、各消防署が所管する地域を巡回することはできないのか

イ 春、秋の火災予防週間のように、時々、夜間に所管する地域を巡回することはできないのか

1 安全・安心対策について

- (1) 安全安心対策推進本部の18年度の活動状況について
- (2) 安全安心対策推進本部が本市の安全・安心対策を総括すべきと考えるが、その見解について
- (3) (仮称)安全・安心条例を制定するとともに、安全・安心対策に関する実施計画を策定すべきと考えるがどうか

2 行政評価システムについて

- (1) 業務棚卸手法による行政評価の取り組み状況はどうか、また、どう評価しているのか
- (2) 事業仕分け会を試行実施した結果について
- (3) 今後、事業仕分けを本格実施する場合、どのような形式を考えているのか

3 消防について

- (1) 住宅密集地で火災が発生した時の消防活動体制と、日ごろの警戒活動について
- (2) 既存住宅への住宅用火災警報器の設置及び現在の普及度について

4 学校教育について

- (1) 命の尊さを学ぶ講座の開設について

5 貿易の振興について

- (1) 秋田港の年間コンテナ貨物取扱量3万本の達成要因について
- (2) 年間コンテナ貨物取扱量をふやすための課題と取り組みについて
- (3) ロシア航路の現状及び今後の見通しについて
- (4) ロシア極東地域との経済交流の展開について

6 公社及び第三セクターの状況について

- (1) 市職員をどこにどのような立場で派遣しているのか、また、派遣先での経費はどのようなものか
- (2) 公社と第三セクターの経営状況について
- (3) 市から適切な指導がされているのか、また、市の適切なコントロール下に置かれているのか
- (4) 公社と第三セクターの将来の方向性をどのように考えているのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 第11次秋田市総合計画の分野別将来都市像「豊かで活力に満ちたまち」の実現に向けての構想と方策について
- (2) 太平寺庭地区の市道占用許可申請工事の違反と思われる工事をそのまま黙認している担当部所の「許可したことにおける何らの責任もない」ということに対する市長の認識について

2 教育問題について

- (1) さまざまな教育課題に今後どのように対応していくのか
- (2) 今後の中長期的な教育方針となる教育ビジョンをどのような考え方のもとに策定するのか

3 今後の農業振興策について

- (1) バイオエタノール農業への展望について
- (2) 有機農業の振興に対する展望について